



今後のマスクの着用の考え方について

- 過日2月10日付にて文部科学省より「卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について」という通知が発出されました。この通知は、来年度の5月8日から「新型コロナ等感染症」に関する考え方や取扱いを変更していく国の方針を受けて、3月中に実施する卒業式や4月から始める新年度の学校生活における留意点などを、前倒しして適用していく内容となっています。
- 具体的には政府対策本部決定として、4月1日以降の新学期におけるマスクの着脱の考え方として「教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」との考えが明記されているところです。
- すなわち、来る5月8日からの世間一般での規制緩和に先駆けて、学校園教育においては4月1日の段階から先行して、規制緩和を行っていくという流れが示されています。
- 現時点では、想定される様々な教育活動の細部にまで至った留意点などは提示されておりませんが、学校生活のかなりの部分において「マスクの着用を求めることはしない」方向で進んでいくことになる予想しています。
- ただし、事情によりマスク着用を希望する、逆に理由によりマスクを着用しない児童生徒もいることなどを鑑みて、
 - ・学校や教職員がマスクの着脱を強いることがないようにすること
 - ・マスクの着用の有無による差別や偏見等がないよう適切に指導を行うことなどの配慮を学校園に求める内容となっています。
- 今後、マスクの着脱については、個人や家庭の考えや判断を最優先にして学校園生活を過ごしていく流れになっていくと思われます。